

令和7年度

南小松島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○児童が他者との関わりを通して、学ぶことの楽しさや考えを聞き合うことよ
さを実感できるようにする。
○学習の目的や意図に応じた「問い」を持ち、課題の解決に向けて自分の思い
や考えを多様な方法で表現・発信できる児童を育てる。

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

校内研修やメンター等、様々な機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な計算や漢字等について、具 体的な目標をもって意欲的に学ぶ習慣 が身につく。 ●既習の知識と関連づけて、文章を読 んだり書いたりすることに課題が見られ、 学力差がある。	・習得した知識を既習の知識と関連付 け、他の学習場面で活用することができ る。 ・語彙数を増やし、正確に読む・書く・話 すことができる。	・朝のスキルタイムや授業の導入部等 で、復習や既習内容の発展問題を取り 入れた課題を与え、継続して行う。 ・課題の取り組み時間や点数を設定し、 意欲的に取り組めるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○これまでの経験から、自分の考えを意 欲的に表現できる児童が多い。 ●目的や意図に応じて、自分の考えを 明確にしたり、複数の考えから新しい考 えを創造したりすることに課題がある。	・「問い」に対する思考の見直しをもち、 課題の解決に向けて取り組む中で、自 分の考えを持ち、深めることができる。 ・根拠や理由をあげて、自分の考えを多 様な方法で表現・発信することができる。	・目的を共有した上で、ペア学習やグ ループ学習の機会を効果的に設定す る。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用し た発表や話し合い活動をさせる。 ・児童の発言や発表の内容に応じ、他者 からの問い返しや質問の時間を設け、児 童の考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分が興味のある内容や身近な事柄 について、一人一台端末を活用して、意 欲的に学ぶことができる。 ●他者の意見を傾聴して理解したり、自 ら「問い」を見出して粘り強く探求したり することに課題がある。	・学習課題に対して必要感や目的・相手 意識をもって楽しみながら取り組む。 ・他者の考えを知的好奇心を高めて聞く ことで、探求意欲を高めたり、自分の課 題を見出したりすることができる。	・一人一台端末(学習アプリやインター ネット等)や学校図書館等を活用して、 児童自身が自分に合った学習方法を選 択して学べる環境を整える。 ・成果を共有したり、発表(評価をもら う)したりする場を工夫するなど、具体的 な目標をもって学び、学習に対する達成 感を味わうことができるようにする。			